

# News Release



## BASF とダウ・ケミカル、 プロピレンオキシドの新生産プロセスを共同開発

2005年10月26日

- 2006年初頭、アントワープBASF生産拠点にHPPOプロセスのプラントを共同で建設
- 原料の過酸化水素の供給は、製造プラントをソルベイ社（ベルギー）と共同で建設中
- 米国とアジアでもHPPOプロセスのプラント建設を検討

BASF（本社：ドイツ ルートヴィヒスハーフェン）とダウ・ケミカル・カンパニー（本社：米国ミシガン州）はこのほど、過酸化水素（HP）を使ってポリウレタン等の原料となるプロピレンオキシド（PO）を生産するHPPOプロセス（過酸化水素法）と呼ばれる画期的な生産技術を共同で開発しました。この技術の特長は、副産物がなく、最終製品であるPOと水しか発生しないことです。また、プラントの設置面積が小さく、必要インフラストラクチャが少ないなど、従来のPO生産プロセスよりも投資額が大幅に少なくなります。この技術は現在、商業生産が可能なレベルに達しており、ベルギーのアントワープにあるBASFの生産拠点内でプラントを設計中です。建設は2006年初頭に開始し、2008年には稼働予定です。このプラントの完成により、ポリウレタン業界を中心に需要が伸びているPO誘導体を供給する体制がBASF、ダウ両社で強化されます。この新生産施設は当初、年産30万トン进行予定しています。

このPOプラントで使用する過酸化水素は、ソルベイ社との合併企業により供給を確保します。ソルベイ社が開発した生産性の高い技術を用いて、年産23万トンのシングルトレイン過酸化水素工場を建設する予定です。ソルベイ社は、この高い技術を過酸化水素の生産拠点のすべてで採用しており、これまでに十分な実績を持っています。

BASFとダウ社は今後、アントワープ以外にもHPPOプロセス（過酸化水素法）によるプラントを建設します。BASFは2009年までに、米国ルイジアナ州のガイスマーにあるBASFの生産拠点にプラントの建設を予定しています。また、アジアでは両社ともに、共同あるいは独自でのプラント建設に向けて意見は一致しており、現在、HPPOプロセスによるプラント建設候補地での計画の実現性について検討を進めています。BASFでは、最初のアジアでのHPPOプロセスによるプラントは、ダウ社と提携して建設を進めたいと考えています。

### ご参考：プロピレンオキシドとは

ポリウレタンやプロピレングリコール、中間体、難燃剤、合成潤滑剤、油田掘削用化学品、織物用界面活性剤などの生産に使用される化学品です。

### BASF について

BASF（ビーエーエスエフ）は「ザ・ケミカルカンパニー（The Chemical Company）」を標語に掲げる世界の化学業界のリーディングカンパニーです。BASFの製品群は、化学品、プラスチック、高機能製品、農薬、ファインケミカルから原油や天然ガスに至るまで多岐にわたります。あらゆる業界のパートナーカンパニーとして信頼されているBASFは、高度なソリューションと高品質な製品によって、顧客のさらなる成功をサポートしています。BASFでは、新技術の開発とそれらを使用することで、新たな市場を切り開いています。また、経済的な成功と環境保護、社会への責任を融合させることでより良い未来に貢献しています。2004年度は約8万2,000人の従業員を雇用し、370億ユーロ以上の売上高を計上しました。BASFの株式はフランクフルト（BAS）、ロンドン（BFA）、ニューヨーク（BF）、チューリッヒ（AN）の各株式市場において取引されています。同社のインターネットホームページアドレスはwww.basf.comです。BASFジャパン（株）のインターネットホームページのアドレスはwww.basf-japan.co.jpです。

### 本件についてのお問い合わせ先

BASF ジャパン株式会社 広報代理  
ヒル アンド ノウルトン ジャパン株式会社  
山田 真紀 (Tel. 03-5776-7088)

BASF ジャパン株式会社  
コーポレート・コミュニケーションズ  
住所：〒102-8570  
東京都千代田区紀尾井町3-3  
TEL: 03-3238-2341  
FAX: 03-3238-2514  
URL:<http://www.basf-japan.co.jp>